

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2012年 第30週（7月23日～7月29日）

## ★ お知らせ

### ○ ヘルパンギーナに注意して！

定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の1.97から2.43と増加しました。いわゆる夏かぜの代表的疾患で、突然の高熱・口腔内の水疱や発赤を主症状とするウイルス感染症です。倦怠感や口腔内の痛みなどから、食事や水分を十分にとれず、脱水になることもあるため、食事がとりやすいよう、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心がけることが大切です。予防としては、外から帰った後、食事の前、トイレの後などに手洗いをを行うことが最も大切です。治った後も3～4週間は便にウイルスが排泄されるため、集団生活ではタオルを共用することは避けましょう。

### ○ マイコプラズマに注意して！




定点医療機関からの報告が、定点当たり前週の0.13から0.50と増加しました。マイコプラズマ肺炎にかかった人のせきやくしゃみなどのしぶきに含まれる病原体によって人から人へ感染します（飛まつ感染・接触感染）。感染を広げないためのポイントは、咳エチケットと手洗いです。

### ○ 風しんについて

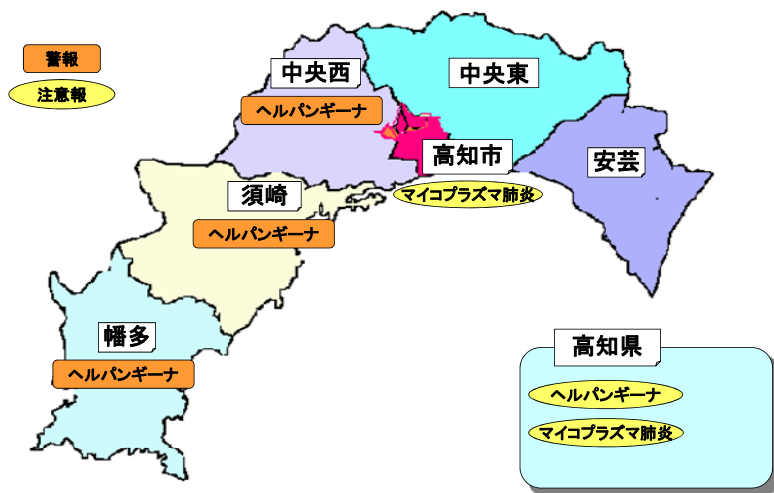
全国的に風しんの届出が増加しています。高知県でも第30週に1例届出がありました。風しんは14～21日（平均16～18日）の潜伏期間の後、突然の全身性の斑状丘疹状の発疹、発熱、耳介後部、後頭下部、頸部のリンパ節腫脹を特徴とするウイルス感染症であり、通常は数日で治癒する予後良好な疾患ですが、妊娠初期に風疹に罹患すると、風疹ウイルスが胎盤を介して胎児に感染し、出生児に先天性風疹症候群（congenital rubella syndrome: CRS）を発生することがあります。感染予防としては、手洗い、うがい、咳エチケットと、予防接種を受け免疫をあらかじめ獲得しておく事です。定期予防接種対象の方は、予防接種を受けましょう。これから妊娠する可能性のある女性は、妊娠前に予防接種を受けておくことが大切です。任意の予防接種になりますので、かかりつけの医師とよく相談してください。

## ★ 県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  : 急増  : 増加  : 横ばい  : 減少  : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数(人)	県内の傾向
ヘルパンギーナ		2. 4 3	須崎、幡多、中央西、安芸、中央東で増加した。須崎、幡多、中央西で警報値を超している。流行のシーズンなので注意が必要。
感染性胃腸炎		2. 0 3	高知市、中央東、須崎、幡多で増加したがあまり変化は無い。
水痘		0. 6 7	須崎、高知市、幡多で増加した。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0. 5 3	高知市、幡多で増加した。
突発性発疹		0. 5 3	安芸、幡多で増加した。

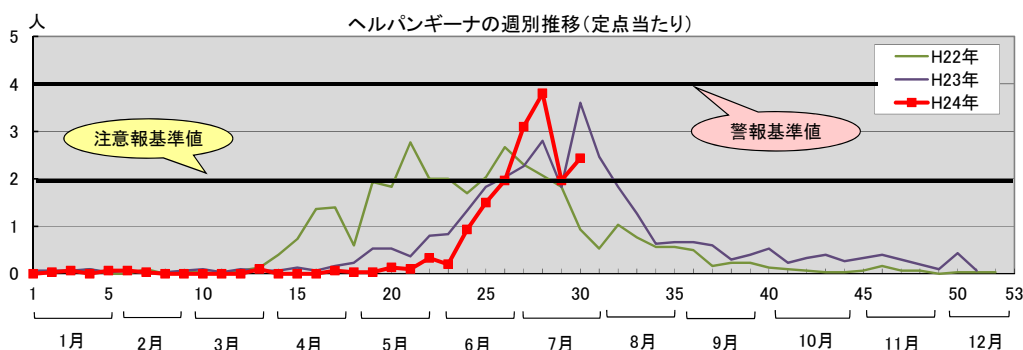
★ 地域別感染症発生状況



★ 気を付けて！

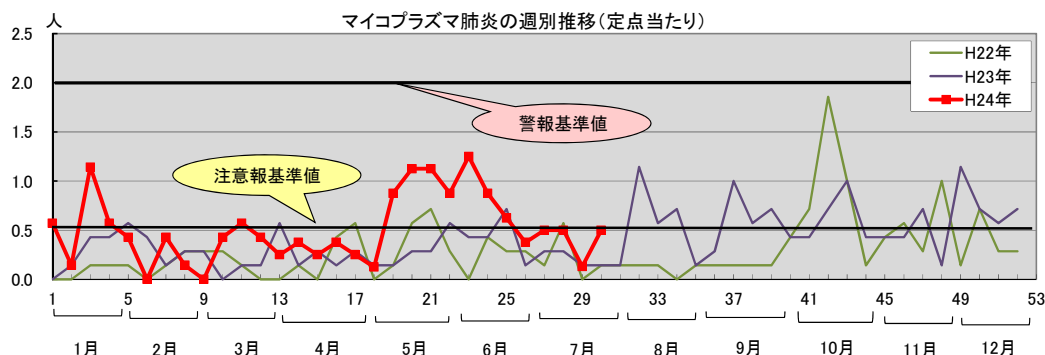
○ ヘルパンギーナ：2.43（注意報値：2.00 警報値：4.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 2.43（前週：1.97）と増加し、注意報値を超している。須崎 8.00、幡多 5.60、中央西 5.00、安芸 1.50、中央東 0.57 で増加し、須崎、幡多、中央西では警報値を超している。今後も流行が考えられるので、手洗いやうがい、咳エチケットをして予防しましょう。



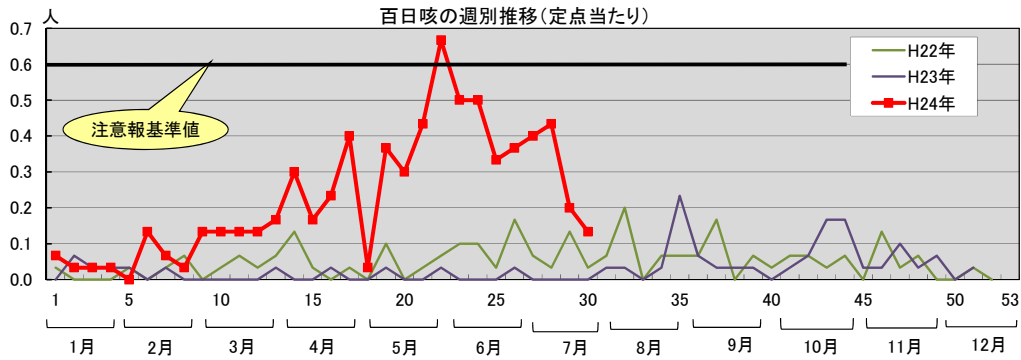
○ マイコプラズマ肺炎：0.50（注意報値：0.50 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告では定点当たり 0.50（前週：0.13）と増加し、注意報値を超している。高知市で 0.80 と注意報値を超している。病原体定点からは肺炎マイコプラズマ (*Mycoplasma pneumoniae*) が 9 例検出されている。感染を拡げないために、手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚な接触を避けるように気を付けましょう。



○ 百日咳：0.13（注意報値：0.60 警報値：1.00）

定点医療機関からの報告が定点当たり 0.13（前週：0.20）と減少したが、例年と比較するとまだ少し高い値が続いている。病原体定点からは百日咳菌 (*Bordetella pertussis*) が 2 例検出されている。感染力が強いので、咳エチケット、手洗いをして予防しましょう。



★病原体検出情報

前週搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
30	百日咳	1	女	安芸	<i>Bordetella pertussis</i>
30	百日咳	9	女	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
30	マイコプラズマ肺炎	9	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ	10	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ肺炎	12	男	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ	10	女	高知市	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ感染	10	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ感染	3	男	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ	5	男	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ肺炎	11	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
30	マイコプラズマ	11	女	須崎	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
25	気管支炎	1ヶ月	女	中央東	Rhinovirus

\*「保健所」について、患者の居住地を管轄する保健所名を記載する。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	9	88	40歳代(男)、60歳代(女)、80歳代(女2名)、80歳代(男)	高知市
				60、80、90歳代(女)	中央西
				50歳代(女)	幡多
5類	破傷風	1	1	70歳代(女)	高知市
	風疹	1	1	50歳代(男)	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1例(6歳女)
中央東	あけぼの小児クリニック	マイコプラズマ肺炎 2例(3、10歳) アデノウイルス咽頭炎 2例(1、4歳)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 4例(6歳男女、8、17歳女) 百日咳 2例(38歳男、57歳女 PTIgG160以上)
中央西	くぼたこどもクリニック	ヘルパンギーナ 1例(5歳女)、流行性耳下腺炎 1例(2歳男)
	日高クリニック	マイコプラズマ肺炎 2例(7歳女、9歳男)
	石黒小児科	単純ヘルペス 1例(4歳女)、ヘルペス性歯肉口内炎 1例(9歳女) 帯状疱疹 1例(9歳女)
須崎	もりはた小児科	帯状疱疹 1例(9歳女)、マイコプラズマ肺炎 1例(5歳)
幡多	さたけ小児科	膿痂疹 6例(0歳女、1歳男3名、6、8歳女) ムンプス髄膜炎 1例(4歳男)

## ★ 全国情報

### 第28週 (7/9～7/15)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核423例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症94例、腸チフス1例

4類感染症：E型肝炎2例、つつが虫病2例、デング熱1例、日本紅斑熱4例、レジオネラ症18例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎1例、急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群16例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、梅毒8例、破傷風1例、風しん60例、麻しん14例

報告遅れ：E型肝炎2例、エキノコックス症1例、日本紅斑熱1例、ライム病1例、レジオネラ症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

### ◆腸管出血性大腸菌感染症 (2012年7月18日現在)

2012年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第18週までは30例以下の報告が続き、第19週から増加し始めた。第22週以降に大阪府で保育所の給食を原因とした食中毒 (026 VT1) が発生した影響で、第23週に154例と一時的なピークを形成したが、その後第24～27週までは各々113、107、112、110例と横ばいで、第28週は94例であった。本年第28週までの累積報告数1,129例は、2000年以降の各年の同週末までの累積報告数と比較して2003年に次いで2番目に少ない報告数である (2000年1,209例、2001年1,641例、2002年1,260例、2003年846例、2004年1,187例、2005年1,256例、2006年1,177例、2007年1,445例、2008年1,288例、2009年1,184例、2010年1,485例、2011年1,452例)。また、患者 (有症状者) に絞った累積報告数は、2007年以降\*と比較すると704例で最も少なく (2007年966例、2008年878例、2009年769例、2010年933例、2011年983例)、2000年以降で比較しても2003年 (501例) に次いで2番目に少ない。

第1～28週の累積報告数1,129例について都道府県別にみると、大阪府 (171例) が最も多く、次いで福岡県 (84例)、東京都 (76例)、愛知県 (65例)、神奈川県 (60例) の順となっている。

性別では男性544例、女性585例で、年齢群別では0～9歳367例、10～19歳167例、20～29歳159例の順に多かった。

第23週以降に起きた集団発生として、第24週以降に鹿児島県の保育所で発生した集団感染 (0111 VT1・VT2) では、職員や園児から家族への二次感染等を含めこれまでに計30例の感染者が報告されている。また、第25週に佐賀県の高校生の間で集団感染 (0不明VT1) により7例の感染者が報告され、後に感染研で血清型別が行われた結果、0186:H-であると判明した (0186は昨年新しく追加された0血清群)。さらに、第26週には山口県の福祉施設で集団感染 (0157 VT1・VT2) が発生した。

第25週以降、全国的には報告数が横ばいである一方で、福岡県からの報告が第25～28週にかけて、各々1、9、16、11例と増加傾向にある。原因菌の血清群は多くが0157であるが、VT1・VT2ならびにVT2単独のいずれの型も分離されている。県内の広域にわたって感染者が報告されており、現時点で感染原因・感染経路等を含めて関連性は不明である。

腸管出血性大腸菌感染症の重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群 (HUS) は、第28週までに累計23例 (男性12例、女性11例) 報告されており、年齢群別では0～4歳14例、5～9歳4例、15～64歳1例、65歳以上4例であった。死亡例は2例 (70代男性と80代女性、いずれも0157 VT2の感染) 報告されている。

毎年本症が数多く発生する夏季に入り、その発生動向には引き続き注意が必要である。食肉の十分な加熱処理などにより、食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが重要である。特に、保育施設における集団発生が多くみられており、日ごろからの注意として、オムツ交換時の手洗い、園児に対する排便後・食事前の手洗い指導の徹底が重要である。また、簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。さらに、過去には動物とのふれあい体験での感染と推定される事例も報告されており、動物との接触後の十分な手洗いにも注意が必要である。

\* 腸管出血性大腸菌感染症の届出基準は、2006年4月よりHUS発症例に限って、菌分離されていなくても、便からのVT検出あるいは血清でのO抗原凝集抗体又は抗ペロ毒素抗体の検出によって診断した場合に届出することとなった。

-----

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第30週 平成24年7月23日(月)～平成24年7月29日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第30週							計	前週	全国(29週)	高知県(30週末累計) H24/1/2～H24/7/29	全国(29週末累計) H24/1/2～H24/7/22
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ								( )	( )	1,356 ( 0.28)	16,405 ( 341.77)	1,624,210 ( 329.99)	
小児科	咽頭結核熱				2			1	3 ( 0.10)	4 ( 0.13)	1,347 ( 0.43)	103 ( 3.43)	30,162 ( 9.59)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	9	1	3	1	16 ( 0.53)	19 ( 0.63)	3,806 ( 1.21)	1,576 ( 52.53)	188,551 ( 59.93)		
	感染性胃腸炎	8	7	38	3	1	4	61 ( 2.03)	60 ( 2.00)	11,058 ( 3.51)	5,935 ( 197.83)	699,200 ( 222.25)		
	水痘	1	1	8	1	3	6	20 ( 0.67)	17 ( 0.57)	2,412 ( 0.77)	1,643 ( 54.77)	127,275 ( 40.46)		
	手足口病			4	2		3	9 ( 0.30)	7 ( 0.23)	3,044 ( 0.97)	83 ( 2.77)	22,016 ( 7.00)		
	伝染性紅斑	1	3	7	1		3	15 ( 0.50)	16 ( 0.53)	473 ( 0.15)	741 ( 24.70)	16,510 ( 5.25)		
	突発性発疹	2	1	7	2	1	3	16 ( 0.53)	18 ( 0.60)	1,961 ( 0.62)	414 ( 13.80)	49,833 ( 15.84)		
	百日咳			4				4 ( 0.13)	6 ( 0.20)	100 ( 0.03)	233 ( 7.77)	2,326 ( 0.74)		
	ヘルパンギーナ	3	4	7	15	16	28	73 ( 2.43)	59 ( 1.97)	13,670 ( 4.34)	538 ( 17.93)	57,306 ( 18.22)		
	流行性耳下腺炎		1	2	1		3	7 ( 0.23)	8 ( 0.27)	1,630 ( 0.52)	542 ( 18.07)	44,767 ( 14.23)		
RSウイルス感染症							( )	( )	405 ( 0.13)	620 ( 20.67)	27,194 ( 8.64)			
眼科	急性出血性結膜炎							( )	( )	10 ( 0.01)	( )	315 ( 0.46)		
	流行性角結膜炎							( )	2 ( 0.67)	383 ( 0.56)	24 ( 8.00)	10,588 ( 15.57)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( )	5 ( 0.01)	6 ( 0.86)	257 ( 0.55)		
	無菌性髄膜炎						1	1 ( 0.13)	1 ( 0.13)	23 ( 0.05)	14 ( 2.00)	401 ( 0.86)		
	マイコプラズマ肺炎			4				4 ( 0.50)	1 ( 0.13)	390 ( 0.84)	131 ( 18.71)	11,177 ( 23.98)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 ( 0.13)	( )	28 ( 0.06)	7 ( 1.00)	430 ( 0.92)		
計	(小児科定点当たり人数)	15 ( 7.50)	19 ( 2.71)	91 ( 7.82)	28 ( 9.33)	24 ( 12.00)	53 ( 10.40)	230 ( 7.45)		42,101	29,015 ( 756.04)	2,912,518		
前週	(小児科定点当たり人数)	25 ( 12.50)	20 ( 2.86)	95 ( 8.27)	26 ( 8.66)	17 ( 8.50)	35 ( 7.00)		218 ( 7.13)					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第30週							計	前週	全国(29週)	高知県(30週末累計) H24/1/2～H24/7/29	全国(29週末累計) H24/1/2～H24/7/22
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ										0.28	341.77	329.99	
小児科	咽頭結核熱				0.67			0.20	0.10	0.13	0.43	3.43	9.59	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.29	0.82	0.33	1.50	0.20	0.53	0.63	1.21	52.53	59.93		
	感染性胃腸炎	4.00	1.00	3.45	1.00	0.50	0.80	2.03	2.00	3.51	197.83	222.25		
	水痘	0.50	0.14	0.73	0.33	1.50	1.20	0.67	0.57	0.77	54.77	40.46		
	手足口病			0.36	0.67		0.60	0.30	0.23	0.97	2.77	7.00		
	伝染性紅斑	0.50	0.43	0.64	0.33		0.60	0.50	0.53	0.15	24.70	5.25		
	突発性発疹	1.00	0.14	0.64	0.67	0.50	0.60	0.53	0.60	0.62	13.80	15.84		
	百日咳			0.36				0.13	0.20	0.03	7.77	0.74		
	ヘルパンギーナ	1.50	0.57	0.64	5.00	8.00	5.60	2.43	1.97	4.34	17.93	18.22		
	流行性耳下腺炎		0.14	0.18	0.33		0.60	0.23	0.27	0.52	18.07	14.23		
RSウイルス感染症									0.13	20.67	8.64			
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.46		
	流行性角結膜炎								0.67	0.56	8.00	15.57		
基幹	細菌性髄膜炎							1.00	0.13	0.01	0.86	0.55		
	無菌性髄膜炎								0.13	0.05	2.00	0.86		
	マイコプラズマ肺炎			0.80				0.50	0.13	0.84	18.71	23.98		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13		0.06	1.00	0.92		
計	(小児科定点当たり人数)	7.50	2.71	7.82	9.33	12.00	10.40	7.45			756.04			
前週	(小児科定点当たり人数)	12.50	2.86	8.27	8.66	8.50	7.00		7.13					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869